

令和2年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関市下関駅南自転車駐車場・下関市下関駅北自転車駐車場・下関市下関駅原動機付自転車等駐車場
所在地	竹崎町四丁目1番37・竹崎町四丁目1番3・竹崎町四丁目1番71
指定管理者	団体名称 株式会社ブランドウ
	代表者 代表取締役 藤原 邦彦
	団体所在地 下関市唐戸町3番8号
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認に当たっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	都市整備部交通対策課
	T E L : 0 8 3 - 2 3 1 - 1 9 0 9
	E - m a i l : tskotsut@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

□指標：下関駅南自転車駐車場の利用台数

	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期
目標値	21,000	185	20,350	175	-	-	-	-	-	-
実績値	16,156	125	-	-	-	-	-	-	-	-
差	△ 4,844	△ 60	-	-	-	-	-	-	-	-

□指標：下関駅北自転車駐車場の利用台数

	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期
目標値	43,500	2,520	42,100	2,475	-	-	-	-	-	-
実績値	35,555	1,827	-	-	-	-	-	-	-	-
差	△ 7,945	△ 693	-	-	-	-	-	-	-	-

□指標：下関駅原動機付自転車等駐車場の利用台数

	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期
目標値	13,500	455	12,690	445	-	-	-	-	-	-
実績値	11,489	401	-	-	-	-	-	-	-	-
差	△ 2,011	△ 54	-	-	-	-	-	-	-	-

指定管理者制度を導入し2期目の初年度に当たる令和2年度は、令和2年2月頃からの新型コロナウイルス感染症拡大により、年度を通して、外出自粛の呼びかけもあり、買物、通勤、通学での自転車利用者が大幅に減少し、一時駐車利用台数、定期利用台数ともに目標値に達しませんでした。下関駅周辺の学校が一時的に休校となったこと、留学生在が入学できなくなったこと、による学生定期利用の減少、在宅ワークの普及により通勤利用者が減少したことによる一般定期利用の減少がみられました。

また、一時駐車利用についても、外出自粛により下関駅周辺の商業施設への買い物客が減少し、利用が落ち込みました。

■ モニタリングの総合コメント

本施設の設置目的は、自転車等の駐車秩序を確立することにより、街の美観を維持するとともに、自転車等利用者の利便性を図ることです。管理運営業務の実施状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。施設の維持管理、業務の実施については、事業報告書及び実地調査により、おおむね適切に実施されていることを確認しています。

また、実地調査で市から指摘のあった事項についても、迅速に改善されており、総合的に判断して良好と評価します。今後も新型コロナウイルス感染症の影響が拡大する状況において、従業員のマスク着用、施設機器の消毒を徹底するなどの感染対策に取り組み、利用者が安心して利用できる環境づくりを求めます。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

管理運営業務において、利用者からの大きな苦情もなく、要望や機械トラブルにも迅速に対応していることから、指定管理者の努力により良好な水準を維持していると判断します。新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、厳しい状況ですが、コロナ収束後、速やかにコロナ前の水準まで利用台数を回復できるよう、駅周辺の企業や宿泊施設、学校への訪問活動など、利用者の獲得に向けた努力や工夫を求めます。また、地域に根ざした施設を目指して、引き続き利用者や各種関係団体と良好な関係を築きながら、下関駅周辺地区における賑わいづくりの創出に協力することを求めます。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の維持管理及び運営については、下関市自転車等駐車場条例に定める施設の設置目的に則り、適切に運営していました。また、施設の利用許可は適切に行われており、利用者が公平に利用できるようになっていました。施設の利用台数については、年度当初から新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一時駐車利用、定期利用ともに前年度と比較して大きく減少しました。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

下関市自転車等駐車場条例をはじめとする関係法令に則り、業務を適切に実施していました。下関駅周辺の学校・宿泊施設を訪問し、施設のチラシ配布や利用促進の呼びかけを実施したほか、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に際して、3蜜を避けられる自転車利用の呼びかけをホームページに掲載するなど、施設の利用促進に努めていました。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

施設の管理運営業務に必要な人員が過不足なく配置され、適切に管理していました。また、現場係員の業務遂行能力の向上を目的とした研修を実施するなど、施設運営の向上に努めていました。利用者からの苦情や要望にも適切に対応し、改善に役立てていました。また、担当者と市が緊密に連絡を取り、業務等に関する情報共有が図られていました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

業務について、現場係員により実施内容に差が生じないよう、日々の業務日報を整備し、担当者が随時点検確認を行っていました。また、利用料金などの収入や施設管理費等の支出についても帳簿や台帳を整備し、適正に処理されていました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

利用者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等は適切に実施しており、施設の不具合等は適宜、市へ報告を行っています。また、人身事故、盗難事故、地震対応、応急手当、火災等のマニュアルを整備し、緊急事態に対する迅速かつ適切な対応がとれる体制となっています。

社会性(環境等への配慮)

施設の定期巡回時と併せ、下関駅周辺のゴミ拾い活動を行うなど、街の美観にも配慮した管理運営を実施していました。また、新型コロナウイルス感染症対策として、従業員のマスク着用、施設機器の消毒などの感染防止対策に取り組みました。

事業収支

経済性

支出について経費削減も見られましたが、収入について利用料金収入が当初計画を大きく下回り、収支としては赤字となり、下関市指定管理者事業継続支援金の交付を受けたことで、事業の継続性が確保できました。

団体の経営状態

経営の健全性

指定管理者である株式会社ブランドゥの経営状況について、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、営業利益、経常利益ともに赤字となり、昨年度に引き続き経営状況が悪化していることから、安定した収益を確保できるよう、経営の健全化に努めてください。

また、連絡調整会議において適宜ヒアリングを行う等、経営状況について注視していきます。

令和3年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関市下関駅南自転車駐車場・下関市下関駅北自転車駐車場・下関市下関駅原動機付自転車等駐車場		
所在地	竹崎町四丁目 1 番 3 7 ・ 竹崎町四丁目 1 番 3 ・ 竹崎町四丁目 1 番 7 1		
指定管理者	団体名称	株式会社ブランドゥ	
	代表者	代表取締役 藤原 邦彦	
	団体所在地	下関市唐戸町 3 番 8 号	
モニタリング の 実施方針・ 方法等	本施設の管理運営業務の確認に当たっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。		
担当部課 (問合せ先)	都市整備部交通対策課		
	TEL : 083 - 231 - 1909		
	E-mail : tskotsut@city.shimonoseki.yamaguchi.jp		

■ 目標値の達成度

□指標：下関駅南自転車駐車場の一時駐車利用台数・定期利用台数

	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期
目標値	21,000	185	20,350	175	20,350	175	-	-	-	-
実績値	16,156	125	15,559	132	-	-	-	-	-	-
差	△ 4,844	△ 60	△ 4,791	△ 43	-	-	-	-	-	-

□指標：下関駅北自転車駐車場の一時駐車利用台数・定期利用台数

	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期
目標値	43,500	2,520	42,100	2,475	42,100	2,475	-	-	-	-
実績値	35,555	1,827	38,098	1,989	-	-	-	-	-	-
差	△ 7,945	△ 693	△ 4,002	△ 486	-	-	-	-	-	-

□指標：下関駅原動機付自転車等駐車場の一時駐車利用台数・定期利用台数

	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期
目標値	13,500	455	12,690	445	13,690	445	-	-	-	-
実績値	11,489	401	12,180	421	-	-	-	-	-	-
差	△ 2,011	△ 54	△ 510	△ 24	-	-	-	-	-	-

指定管理者制度を導入し2期目の2年度目に当たる令和3年度は、前年度からの新型コロナウイルス感染症拡大により、年間を通して買物、通勤、通学での自転車利用者が減少し、3施設とも一時駐車利用台数、定期利用台数は目標値に達しませんでした。利用台数が減少している要因としては、下関駅周辺の学校の休校や留学生在が入国できないことによる学生利用減少、在宅ワークの普及に伴う通勤利用の減少、外出自粛による下関駅周辺の商業施設への買い物客の減少が挙げられます。

■ モニタリングの総合コメント

本施設の設置目的は、自転車等の駐車秩序を確立することにより、街の美観を維持するとともに、自転車等利用者の利便性を図ることです。管理運営業務の実施状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。施設の維持管理、業務の実施については、事業報告書及び実地調査により、おおむね適切に実施されていることを確認しています。また、市の指定管理者監査において指摘のあった事項についても、迅速に改善されており、総合的に判断して良好と評価します。

今後も適切な施設の維持管理、業務の実施により、利用者が安心して利用できる環境づくりを求めます。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

管理運営業務において、利用者からの大きな苦情もなく、要望や機械トラブルにも迅速に対応していることから、指定管理者の努力により良好な水準を維持していると判断します。3施設の合計利用台数は前年度実績を上回り、新型コロナウイルス感染症の影響による利用台数の減少傾向に下げ止まりの兆候が見られます。今後、感染状況が落ち着いた場合は利用台数の増加も見込まれるため、感染終息後を見据えて、駅周辺の企業や宿泊施設、学校への訪問活動など、利用者の獲得に向けた努力や工夫を求めます。また、地域に根ざした施設を目指して、引き続き利用者や各種関係団体と良好な関係を築きながら、下関駅周辺地区における賑わいづくりの創出に協力することを求めます。

基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効索性

施設の維持管理及び運営については、下関市自転車等駐車場条例に定める施設の設置目的に則り、適切に運営していました。また、施設の利用許可は適切に行われており、利用者が公平に利用できるようになっていました。年間を通して新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、3施設の合計利用台数は前年度と比較して増加しました。

業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

下関市自転車等駐車場条例をはじめとする関係法令に則り、業務を適切に実施していました。下関駅周辺の学校・宿泊施設を訪問し、施設のチラシ配布や利用促進の呼びかけを実施したほか、定期利用の需要掘り起こしとして、タブロイド紙に広告を掲載するなど、利用促進に努めました。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

施設の管理運営業務に必要な人員が過不足なく配置され、適切に管理していました。また、現場係員の業務遂行能力の向上を目的とした研修を実施するなど、施設運営の向上に努めていました。利用者からの苦情や要望にも適切に対応し、改善に役立てていました。また、担当者と市が緊密に連絡を取り、業務等に関する情報共有が図られていました。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

業務について、現場係員により実施内容に差が生じないように、日々の業務日報を整備し、担当者が随時点検確認を行っていました。また、利用料金などの収入や施設管理費等の支出についても帳簿や台帳を整備し、適正に処理されていました。定期券手数料徴収事務委託に係る事務処理について令和3年度指定管理者監査にて指摘がありましたが、指摘後速やかに対応し改善されました。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

利用者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等は適切に実施しており、施設の不具合等は適宜、市へ報告を行っていました。また、人身事故、盗難事故、地震対応、応急手当、火災等のマニュアルを整備し、緊急事態に対する迅速かつ適切な対応がとれる体制となっていました。

社会性（環境等への配慮）

施設の定期巡回時と併せ、下関駅周辺のゴミ拾い活動を行うなど、街の美観にも配慮した管理運営を実施していました。また、新型コロナウイルス感染症対策として、従業員のマスク着用、施設機器の消毒などの感染防止対策に取り組みました。

事業収支

経済性

支出経費について削減も見られましたが、利用料金収入の減少幅が大きく、収支としては当初計画を下回りました。前年度との比較では、利用料金収入が増加し、収支は改善傾向にあります。

団体の経営状態

経営の健全性

指定管理者である株式会社ブランドゥの経営状況について、新型コロナウイルス感染症の影響により、営業利益、経常利益ともに赤字となりましたが、前年度と比較すると赤字額は縮小しており改善傾向も見られます。また、新規事業への投資に関連した現金預金の減少と短期貸付金の増加が見られます。今後、安定した収益を確保できるよう、経営の健全化に努めてください。連絡調整会議において適宜ヒアリングを行う等、経営状況について注視していきます。

令和4年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関市下関駅南自転車駐車場・下関市下関駅北自転車駐車場・下関市下関駅原動機付自転車等駐車場		
所在地	竹崎町四丁目 1 番 3 7 ・ 竹崎町四丁目 1 番 3 ・ 竹崎町四丁目 1 番 7 1		
指定管理者	団体名称	株式会社ブランドゥ	
	代表者	代表取締役 藤原 邦彦	
	団体所在地	下関市唐戸町 3 番 8 号	
モニタリング の 実施方針・ 方法等	本施設の管理運営業務の確認に当たっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に表示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントした上で、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。		
担当部課 (問合せ先)	都市整備部交通対策課		
	T E L : 0 8 3 — 2 3 1 — 1 9 0 9		
	E — m a i l : tskotsut@city.shimonoseki.yamaguchi.jp		

■ 目標値の達成度

□指標：下関駅南自転車駐車場の一時駐車利用台数・定期利用台数

	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期
目標値	21,000	185	20,350	175	20,350	175	20,350	175	-	-
実績値	16,156	125	15,559	132	16,337	165	-	-	-	-
差	△ 4,844	△ 60	△ 4,791	△ 43	△ 4,013	△ 10	-	-	-	-

□指標：下関駅北自転車駐車場の一時駐車利用台数・定期利用台数

	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期
目標値	43,500	2,520	42,100	2,475	42,100	2,475	42,100	2,475	-	-
実績値	35,555	1,827	38,098	1,989	38,887	2,051	-	-	-	-
差	△ 7,945	△ 693	△ 4,002	△ 486	△ 3,213	△ 424	-	-	-	-

□指標：下関駅原動機付自転車等駐車場の一時駐車利用台数・定期利用台数

	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期
目標値	13,500	455	12,690	445	12,690	445	12,690	445	-	-
実績値	11,489	401	12,180	421	12,964	392	-	-	-	-
差	△ 2,011	△ 54	△ 510	△ 24	274	△ 53	-	-	-	-

指定管理者制度を導入し、3期目の3年度目に当たる令和4年度は、コロナ禍が明けつつありますが、生活様式や行動の変化に伴い、利用者数が引き続き減少していると思われます。年間を通して買物、通勤、通学での自転車利用者が伸び悩みました。目標に対しては原動機付自転車等駐車場で一時駐車利用台数の目標値を達成したものの北自転車駐車場と南自転車駐車場は目標値に達しませんでした。また、定期利用台数は全ての駐車場で目標値に達しませんでした。令和5年度には新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行したことに伴い今後、人出が増えることが予想され良い影響が見込まれます。

■ モニタリングの総合コメント

本施設の設置目的は、自転車等の駐車秩序を確立することにより、街の美観を維持するとともに、自転車等利用者の利便性を図ることです。管理運営業務の実施状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。施設の維持管理、業務の実施については、事業報告書及び実地調査により、おおむね適切に実施されていることを確認しています。また、市の指定管理者監査においても指摘事項はなく、総合的に判断して良好と評価します。

今後も適切な施設の維持管理、業務の実施により、利用者が安心して利用できる環境づくりを求めます。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

管理運営業務において、利用者からの大きな苦情もなく、要望や機械トラブルにも迅速に対応していることから、指定管理者の努力により良好な水準を維持していると判断します。3施設の合計利用台数は前年度実績を上回り、新型コロナウイルス感染症の影響による利用台数の減少傾向の下げ止まりが認められます。感染状況の落ち着きに伴い今後は利用台数の増加が見込まれるため、駅周辺の企業や宿泊施設、学校への訪問活動など、利用者の獲得に向けた努力や工夫を求めます。また、地域に根ざした施設を目指して、引き続き利用者や各種関係団体と良好な関係を築きながら、下関駅周辺地区における賑わいづくりの創出に協力することを求めます。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の維持管理及び運営については、下関市自転車等駐車場条例に定める施設の設置目的にのっとり、適切に運営していました。また、施設の利用許可は適切に行われており、利用者が公平に利用できるようになっていました。年間を通して新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、3施設の合計利用台数は前年度と比較して増加しました。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

下関市自転車等駐車場条例をはじめとする関係法令にのっとり、業務を適切に実施していました。下関駅周辺の学校・宿泊施設を訪問し、施設のチラシ配布や利用促進の呼びかけを実施したほか、定期利用の需要掘り起こしとして、情報紙に広告を掲載するなど、利用促進に努めました。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

施設の管理運営業務に必要な人員が過不足なく配置され、適切に管理していました。また、現場係員の業務遂行能力の向上を目的とした研修を実施するなど、施設運営の向上に努めていました。利用者からの苦情や要望にも適切に対応し、改善に役立てていました。また、担当者と市とが緊密に連絡を取り、業務等に関する情報共有が図られていました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

業務について、現場係員により実施内容に差が生じないよう、日々の業務日報を整備し、担当者が随時点検確認を行っていました。また、利用料金などの収入や施設管理費等の支出についても帳簿や台帳を整備し、適正に処理されていました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

利用者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等は適切に実施しており、施設の不具合等は適宜、市へ報告を行っていました。また、人身事故、盗難事故、地震対応、応急手当、火災等のマニュアルを整備し、緊急事態に対する迅速かつ適切な対応がとれる体制となっていました。

社会性(環境等への配慮)

施設の定期巡回時と併せ、下関駅周辺のゴミ拾い活動を行うなど、街の美観にも配慮した管理運営を実施していました。また、新型コロナウイルス感染症対策として、従業員のマスク着用、施設機器の消毒などの感染防止対策に取り組みました。

事業収支

経済性

支出経費については、ほぼ計画どおりでしたが、利用料金収入が伸び悩み、収支としては当初計画を下回りました。また、自主事業として実施しているレンタサイクル事業で堅調に収益が伸びています。前年度との比較では、利用料金収入が増加し、収支は改善傾向にあります。

団体の経営状態

経営の健全性

指定管理者である株式会社ブランドゥの経営状況について、新型コロナウイルス感染症の影響により、営業利益は赤字となりましたが、積立保険の解約や助成金等の雑収入を含んだ経常利益では黒字となっています。前年度と比較すると営業利益の赤字額も縮小しており改善傾向が見られます。今後、安定した収益を確保できるよう、経営の健全化に努めてください。連絡調整会議において適宜ヒアリングを行う等、経営状況について注視していきます。

令和5年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関市下関駅南自転車駐車場・下関市下関駅北自転車駐車場・下関市下関駅原動機付自転車等駐車場
所在地	竹崎町四丁目1番37・竹崎町四丁目1番3・竹崎町四丁目1番71
指定管理者	団体名称 株式会社ブランドゥ
	代表者 代表取締役 藤原 邦彦
	団体所在地 下関市唐戸町3番8号
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認に当たっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	都市整備部都市計画課
	T E L : 0 8 3 - 2 3 1 - 1 3 6 0
	E - m a i l : tstoshik@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

□指標：下関駅南自転車駐車場の一時駐車利用台数・定期利用台数

	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期
目標値	21,000	185	20,350	175	20,350	175	20,350	175	20,350	175
実績値	16,156	125	15,559	132	16,337	165	16,297	157	-	-
差	△ 4,844	△ 60	△ 4,791	△ 43	△ 4,013	△ 10	△ 4,053	△ 18	-	-

□指標：下関駅北自転車駐車場の一時駐車利用台数・定期利用台数

	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期
目標値	43,500	2,520	42,100	2,475	42,100	2,475	42,100	2,475	42,100	2,475
実績値	35,555	1,827	38,098	1,989	38,887	2,051	35,257	1,802	-	-
差	△ 7,945	△ 693	△ 4,002	△ 486	△ 3,213	△ 424	△ 6,843	△ 673	-	-

□指標：下関駅原動機付自転車等駐車場の一時駐車利用台数・定期利用台数

	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期
目標値	13,500	455	12,690	445	12,690	445	12,690	445	12,690	445
実績値	11,489	401	12,180	421	12,964	392	12,373	410	-	-
差	△ 2,011	△ 54	△ 510	△ 24	274	△ 53	△ 317	△ 35	-	-

指定管理者制度を導入し3期目の4年度目に当たる令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したものの、生活様式や行動の変化に伴い、利用者数の減少が続いています。年間を通して買物、通勤、通学での自転車利用者が伸び悩み、すべての自転車駐車場において、一時駐車利用台数、定期利用台数共に目標値に達しませんでした。

■ モニタリングの総合コメント

本施設の設置目的は、自転車等の駐車秩序を確立することにより、街の美観を維持するとともに、自転車等利用者の利便性を図ることです。管理運営業務の実施状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。施設の維持管理、業務の実施については、事業報告書及び実地調査により、おおむね適切に実施されていることを確認しています。また、市の指定管理者監査においても指摘事項はなく、総合的に判断して良好と評価します。

今後も適切な施設の維持管理、業務の実施により、利用者が安心して利用できる環境づくりを求めます。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

管理運営業務において、利用者からの大きな苦情もなく、要望や機械トラブルにも迅速に対応していることから、指定管理者の努力により良好な水準を維持していると判断します。一方、駐車利用台数は、一時、定期共に前年度実績を下回り、新型コロナウイルス感染症の影響が低下していく中においても、利用台数の減少傾向が続いています。駅周辺の企業や宿泊施設、学校への訪問活動など、利用者の獲得に向けた努力や工夫を求めます。また、地域に根ざした施設を目指して、引き続き利用者や各種関係団体と良好な関係を築きながら、下関駅周辺地区における賑わいづくりの創出に協力することを求めます。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効索性

施設の維持管理及び運営については、下関市自転車等駐車場条例に定める施設の設置目的に則り、適切に運営していました。また、施設の利用許可は適切に行われており、利用者が公平に利用できるようになっていました。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

下関市自転車等駐車場条例をはじめとする関係法令に則り、業務を適切に実施していました。下関駅周辺の学校・宿泊施設、企業を訪問し、施設のチラシ配布や利用促進の呼びかけを実施したほか、定期利用の需要掘り起こしとして、情報紙に広告を掲載するなど、利用促進に努めました。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

施設の管理運営業務に必要な人員が過不足なく配置され、適切に管理していました。また、現場係員の業務遂行能力の向上を目的とした研修を実施するなど、施設運営の向上に努めていました。利用者からの苦情や要望にも適切に対応し、改善に役立てていました。また、担当者と市が緊密に連絡を取り、業務等に関する情報共有が図られていました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

業務について、現場係員により実施内容に差が生じないように、日々の業務日報を整備し、担当者が随時点検確認を行っていました。また、利用料金などの収入や施設管理費等の支出についても帳簿や台帳を整備し、適正に処理されていました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

利用者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等は適切に実施しており、施設の不具合等は適宜、市へ報告を行っていました。また、人身事故、盗難事故、地震対応、応急手当、火災等のマニュアルを整備し、緊急事態に対する迅速かつ適切な対応がとれる体制となっていました。

社会性(環境等への配慮)

施設の定期巡回時と併せ、下関駅周辺のゴミ拾い活動を行うなど、街の美観にも配慮した管理運営を実施していました。

事業収支

経済性

収支共に、ほぼ計画通りに執行され、指定管理料を含めた収支では、黒字となりました。前年度との比較では、利用料金収入が増加し、収支は改善傾向にあります。

団体の経営状態

経営の健全性

指定管理者である株式会社ブランドゥの経営状況について、新型コロナウイルス感染症の影響により、営業利益は赤字となりましたが、積立保険の解約や助成金等の雑収入を含んだ経常利益では黒字となっています。前年度と比較すると営業利益の赤字額も縮小しており改善傾向が見られます。今後、安定した収益を確保できるよう、経営の健全化に努めてください。連絡調整会議において適宜ヒアリングを行う等、経営状況について注視していきます。

令和6年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関市下関駅南自転車駐車場・下関市下関駅北自転車駐車場・下関市下関駅原動機付自転車等駐車場		
所在地	竹崎町四丁目 1 番 3 7 ・ 竹崎町四丁目 1 番 3 ・ 竹崎町四丁目 1 番 7 1		
指定管理者	団体名称	株式会社ブランドゥ	
	代表者	代表取締役 藤原 邦彦	
	団体所在地	下関市唐戸町 3 番 8 号	
モニタリング の 実施方針・ 方法等	本施設の管理運営業務の確認に当たっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に表示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。		
担当部課 (問合せ先)	都市整備部都市計画課		
	T E L : 0 8 3 - 2 3 1 - 1 3 6 0		
	E - m a i l : tstoshik@city.shimonoseki.yamaguchi.jp		

■ 目標値の達成度

□指標：下関駅南自転車駐車場の一時駐車利用台数・定期利用台数

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期
目標値	20,350	175	20,350	175	20,350	175	20,350	175	20,350	175
実績値	15,559	132	16,337	165	16,297	157	14,215	201	-	-
差	△ 4,791	△ 43	△ 4,013	△ 10	△ 4,053	△ 18	△ 6,135	26	-	-

□指標：下関駅北自転車駐車場の一時駐車利用台数・定期利用台数

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期
目標値	42,100	2,475	42,100	2,475	42,100	2,475	42,100	2,475	42,100	2,475
実績値	38,098	1,989	38,887	2,051	35,257	1,802	30,460	1,646	-	-
差	△ 4,002	△ 486	△ 3,213	△ 424	△ 6,843	△ 673	△ 11,640	△ 829	-	-

□指標：下関駅原動機付自転車等駐車場の一時駐車利用台数・定期利用台数

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期
目標値	12,690	445	12,690	445	12,690	445	12,690	445	12,690	445
実績値	12,180	421	12,964	392	12,373	410	12,228	449	-	-
差	△ 510	△ 24	274	△ 53	△ 317	△ 35	△ 462	4	-	-

指定管理者制度を導入し3期目の5年度目に当たる令和6年度も前年度と同様利用者数の減少が続いています。年間を通して買物、通勤、通学での自転車利用者が伸び悩み、下関駅南自転車駐車場及び原動機付自転車の定期利用を除き、目標値に達しませんでした。

■ モニタリングの総合コメント

本施設の設置目的は、自転車等の駐車秩序を確立することにより、街の美観を維持するとともに、自転車等利用者の利便性を図ることです。管理運営業務の実施状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。施設の維持管理、業務の実施については、事業報告書及び実地調査により、おおむね適切に実施されていることを確認しています。また、市の指定管理者監査においても指摘事項はなく、総合的に判断して良好と評価します。

今後も適切な施設の維持管理、業務の実施により、利用者が安心して利用できる環境づくりを求めます。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

管理運営業務において、利用者からの大きな苦情もなく、要望や機械トラブルにも迅速に対応していることから、指定管理者の努力により良好な水準を維持していると判断します。一方、駐車利用台数は、前年度実績を下回り、新型コロナウイルス感染症の影響が低下していく中においても、利用台数の減少傾向が続いています。駅周辺の企業や宿泊施設、学校への訪問活動など、利用者の獲得に向けた努力や工夫を求めます。また、地域に根ざした施設を目指して、引き続き利用者や各種関係団体と良好な関係を築きながら、下関駅周辺地区における賑わいづくりの創出に協力することを求めます。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効索性

施設の維持管理及び運営については、下関市自転車等駐車場条例に定める施設の設置目的に則り、適切に運営していました。また、施設の利用許可は適切に行われており、利用者が公平に利用できるようになっていました。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

下関市自転車等駐車場条例をはじめとする関係法令に則り、業務を適切に実施していました。下関駅周辺の学校・宿泊施設、企業を訪問し、施設のチラシ配布や利用促進の呼びかけを実施したほか、定期利用の需要掘り起こしとして、情報紙に広告を掲載するなど、利用促進に努めました。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

施設の管理運営業務に必要な人員が過不足なく配置され、適切に管理していました。また、現場係員の業務遂行能力の向上を目的とした研修を実施するなど、施設運営の向上に努めていました。利用者からの苦情や要望にも適切に対応し、改善に役立てていました。また、担当者と市が緊密に連絡を取り、業務等に関する情報共有が図られていました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

業務について、現場係員により実施内容に差が生じないように、日々の業務日報を整備し、担当者が随時点検確認を行っていました。また、利用料金などの収入や施設管理費等の支出についても帳簿や台帳を整備し、適正に処理されていました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

利用者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等は適切に実施しており、施設の不具合等は適宜、市へ報告を行っていました。また、人身事故、盗難事故、地震対応、応急手当、火災等のマニュアルを整備し、緊急事態に対する迅速かつ適切な対応がとれる体制となっていました。

社会性(環境等への配慮)

施設の定期巡回時と併せ、下関駅周辺のゴミ拾い活動を行うなど、街の美観にも配慮した管理運営を実施していました。

事業収支

経済性

利用者の減少に伴い料金収入が減少し、経費についても計画より若干減少したものの収支では赤字となりました。駅周辺の企業や宿泊施設、学校への訪問活動など、利用者の獲得に向けた営業努力など収支の改善に向けた取り組みが求められます。

団体の経営状態

経営の健全性

指定管理者である株式会社ブランドゥの経営状況について、営業利益、経常利益では黒字となっています。前年度と比較すると営業利益も黒字に転じており改善傾向が見られます。今後、安定した収益を確保できるよう、経営の健全化に努めてください。連絡調整会議において適宜ヒアリングを行う等、経営状況について注視していきます。